

私たちのシユウカツ

安城特別
支援学校の1年

将来に向けた授業

①

安城特別支援学校（安城市桜井町）には、自分の気持ちを上手にコントロールしたり、相手に思いを分かちやすく伝えたりするのを

自分なりのストレス解消法の見つけ方のほか、最近

苦手とする生徒が多い。就職後に職場の人間関係などで悩み、ストレスを抱えた

時にはどう対処すればいいのか。就職予定の生徒たちに向けた心の授業も大切にしている。

今月十五日、中川梨加養護教諭が「『もやもや』とどっ付き合つか」というテーマで授業をした。心の

中をコップに例え「怒られたり、うま〜いかな〜いことがあったりすると、少しずつもやもやがたまる。そのままにしておくと、いつか

コップがあられちゃうよね」と話し掛けた。「でも『むかっ〜っ〜』『うっぜえ〜』ってぐっぐっ爆発し

ても、解決しないんだよね」

法の見つけ方のほか、最近感じた怒りを十段階の数値で表して、客観的に分析する方法にも挑戦。中川教諭は「もやもやの正体をよく考えてみて。怒りだけじゃなくて、心配とか不安とか、いろんな気持ちがあることに気付くよ」とアドバイスした。

さらにどういう表現を用いれば相手に自分の思いが届き、解決に向かうのかも考えた。友人に貸した大切な本がなくなってしまうという状況を設定。相手を責めるのではなく「自分は

もう一度探してみて」と伝え合った。

高等部三年担任の黒岩愛里教諭は「思いをどううまく表現するかを教えるのは、結構難しいです」という。友だちとのトラブルなど問題があった際に、個別で指導するだけでなく「国語など教科の授業でも、怒りや悲しみといった感情をどう表現すれば良いのかを扱うなど、工夫しています」と話した。

西堀哲夫教頭は「社会人になって自立を目指す生徒たちの役に立つ力を、在学中に少しでも多く付けさせたい」と狙いを話す。薬剤師や歯科医師、税理士などの専門家を招いた授業もある。（四方さつき）

安城特別支援学校高等部で、一般企業への就職を目指す生徒たちの一年を取材しています。次回は、新たな就職先を探す「企業開拓」について紹介します。

もやもやを解消する手段の一つとしてストレッチを試す生徒ら。安城市桜井町の安城特別支援学校で。



もやもやを解消する手段の一つとしてストレッチを試す生徒ら。安城市桜井町の安城特別支援学校で。

思いを上手に伝えよう